

前半の講義に引き続き、いよいよ後半の実技です。参加者が5～6人のグループに分かれ、模型人形とテスト用のAEDを使って行いました。負傷者発見からAEDの使用まで色々作業がありましたが、中でも胸骨圧迫の作業が最も印象に残りました。方法としては自分の腕を相手の体に対して垂直にして、全身を使って少なくとも5センチ胸骨を強く押し下げ、また上げるという動作を1分間に100回のテンポで30回行うのですが、これが大変でした。近くに人がいれば交替で出来ますが自分1人だと・・・。しかし、目の前の人を助きたい一心だとそういう雑念も浮かんで来ないのだと思います。

次にAEDの使い方です。AEDの中身がどんな風になっているのか、参加者されている皆さんは興味津々でした。AEDの電源を入れると全て音声メッセージで指示をしてくれます。電気ショックも通常は1回ということです。この小さな箱の中に色々なデータ(心電図や現場の状況の録音)が入っている事にも驚きでした。救急隊員が到着したら後はお任せして終了になります。

最後に講師の先生からは、このような救命救急に関する講習は1回限りではなく、定期的に受講する事が望ましいと締めくくられていました。

当日参加された利用者さんからは、観桜会の感想をもらいましたので、この場をお借りしてご紹介させていただきます。

- 「ピンクの桜きれいね。」
- 「たくさんの種類の桜が観れてよかった。」
- 「人が少なくて観やすかった。」
- 「来年も行きたいなあ。」
- 「お団子美味しかった。」

など、多くの感想を頂きました。

このような機会があることが嬉しく思います。また機会があれば参加したいと思いました。



**大阪市育成会会員だより**

**特別観桜会にご招待いただきました**  
さきしま園 山下 由香

4月8日に造幣局の通り抜け(特別観桜会)にご招待いただきました。

天気予報では、曇り時々晴れということで、朝から小雨がパラパラ降り出し、一時はどうなるかと思いましたが、昼過ぎから天候も回復し、桜を堪能することができました。

今年は天候もハッキリしない状況で、そのうえ足元も悪かったからなのか、来られている方が少なく、ゆっくり観桜できました。

日本では桜に対する思いが強いように思います。

私もその一人です。

一気に花開き一気に散ってしまう、その儚さが日本の美学に合っているのではないかと思います。散り際の潔さが武士道に通じるところもあるようにも思います。

お花見は一年に一度の祭りのようなもので、事業所の利用者さんや職員と共に造幣局の桜を観ることができて良かったです。

**《レクリエーション(本人活動支援)について》  
ボウリング教室**

- ・日 時：6月20日(土) 13:00～14:30
- ・場 所：桜橋ボウル
- ・定 員：20名
- ・参加費：1,000円(貸靴代含む)
- ・申込締切：6月18日(木) (定員になり次第締切)

**《勉強会のお知らせ》**

- ・日 時：6月18日(木) 10:00～12:00
- ・場 所：社会福祉センター 301会議室
- ・テーマ：「家族でできる自立支援  
～今、何をすればよいか?～」
- ・講 師：桃山学院大学 教授 石田 易司 氏

**《6月部会等日程案内》**

部会名	日 時	会議室
支部連絡会	6月18日(木) 13:00	301